



LONDON

***Thema* バージョン 1.4**

利用手引き

2020 年 4 月

**日本出版インフラセンター
Thema 推進委員会**

2020 年 6 月 9 日

日本語訳	日付	内容
1.0	2020/06/9	20200407 Thema v1.4 update April 2020.doc を翻訳 初版

目次

1. はじめに
2. Thema 体系の構成 —サブジェクトカテゴリーとクオリファイアの構造
3. 国別拡張コードについて
4. Thema サブジェクトカテゴリーとクオリファイアの選択
 - a. Thema 分類の一般的なルール
 - b. セクションサマリー - サブジェクトカテゴリー
 - c. セクションサマリー - クオリファイア
5. Thema カテゴリーとクオリファイアの送受信例

付属の資料「Thema version 1.4 Worked Examples」があり、この利用手引きとは独立して改定され、書籍がどのように分類されるかの例を示しています。

1. はじめに

Thema は、世界の書籍、オーディオブック、電子書籍取引のすべての部門、およびオンライン書店と実書店の両方の小売部門、デジタルおよび紙の書籍コンテンツのための多言語対応のサブジェクト分類体系として意図されています。数千個の階層的に配置されたサブジェクトカテゴリとクオリファイアーからなり、それぞれに（各国語に翻訳された）記述的な見出しと言語に依存しないコードが付いています。この体系は無料で利用でき、EDItEUR が Thema 国際運営協議会と協力して維持・管理しています。

2013 年 10 月には、この体系の最初の完成版である Thema バージョン 1.0 のリリースが開始されました。見出しのみの追加・修正を盛り込んだ Thema バージョン 1.1 は、1 年後の 2014 年 11 月にリリースされ、その後、2016 年 6 月に Thema 1.2、2018 年 4 月に Thema 1.3、2020 年 4 月に Thema 1.4 がリリースされました。各改定で導入された様々な追加や改良は、各国の Thema ユーザーグループからの申請、実際の体系の使用、翻訳作業、国内の既存（分類）体系との比較に基づいています。各提案は、体系の更新に先立ち、国際運営協議会で検討・承認されています。v1.0、v1.1.1、v1.2、v1.3 のすべてのコードは、改定された v1.4 でも基本的に使えます。

エグゼクティブ・ブリーフィング(邦題：Thema の解説)、各国語別のコードリストの詳細な Excel ファイル、xml、html、json での版、他の体系から Thema へのマッピングをはじめ、その他の補助資料は、<http://www.editeur.org/151/Thema/> にあります。

インタラクティブな多言語検索ツールは、以下のサイトでご覧いただけます。

<https://ns.editeur.org/thema/>

このブラウザは、コード、見出し、注釈を表示し、全階層をわかりやすく閲覧できるので、Thema ユーザーにとって便利なツールです。また、検索機能もあり、特定のサブジェクトに適したコードを見つけるのに役立ちますし、注釈や相互参照も見やすくなっています。また、見出しがどのように翻訳されているか、英語の原文の見出しが何であるかを調べることもできます。

この利用手引きは、包括的なガイドラインを提供することを意図したのではなく、単に Thema サブジェクトカテゴリーの基本的な原則を概説するものです。詳細な使用方法については、コードが多数にわたるため、コードリスト本体に記載されています。

2. Thema 体系の構成

Thema 体系は、以下の要素で構成されています：

- サブジェクトカテゴリー、以下のパート 4b に記載されているように、20 のセクションに分けて配置されています、そして
- クオリファイアー、以下のパート 4c に記載されているように、様々な面をカバーする 6 つのリストで構成されています。

書籍、電子書籍、オーディオブック、書籍関連製品の分類には、この二つの要素のうち、サブジェクトカテゴリーは必須ですが、クオリファイアーはオプションです。オプションのクオリファイアーは、必要に応じて、適用されたサブジェクトカテゴリーの意味を補完したり、修飾したり、洗練したりするために、サブジェクトカテゴリーと一緒に使用することができます。書籍は、1 つの

サブジェクトカテゴリを使用して分類することも、複数のサブジェクトカテゴリを使用して分類することもでき、複数のクォリファイアーを追加することもできます。ただし、クォリファイアーを単独で使用することはできません。

各サブジェクトカテゴリまたはクォリファイアーは、「コード」と「見出し」で構成されています（これは常に英語で利用可能ですが、翻訳が完了して承認されれば、他のいくつかの言語でも利用可能になります）。これらの項目には、一貫性のあるカテゴリを付与するために、関連する使用法の「注釈」や、他の Thema カテゴリを参照する「他の候補」があります。

コードや見出しは階層的なパターンで配置されており、分類作業と手動でのトピックの閲覧そして検索を簡単にしています。

サブジェクトカテゴリコードは可変長（階層の深さ）で、常にアルファベットで始まります。例えば次のようになります。

A	芸術
FF	犯罪、ミステリーもの
NH	歴史
UGB	WEB グラフィック&デザイン
YBC	子供向け絵本
QRRF	ゾロアスター教
LWKF	イスラム教：家族関係
DNBB1	自伝：ビジネスと産業
MFKC3	発生学

クォリファイアーコードは可変長で、一桁の数字で始まります。例えば次のようになります。

1HFGU	ウガンダ
2ACSC	アイスランド
3MD	16世紀、1500年頃～1599年頃
4GH	国際 GCSE (IGCSE)のために
5AG	対象年齢：約6歳から
6BA	バロック

ONIX のような商品情報およびメッセージ形式では、コードのみが伝達されることが要求され、これはその後、受信側によって適宜、翻訳されます。これは重要なことです。一般的に、出版社や書籍分類を付ける人は、言語や国ごとに特定の翻訳を用いて選択作業を行っています。しかしコードは普遍的なので、見出しは、消費者や図書館司書の馴染みのある言語に応じて、他の翻訳でどのようにも表現することが可能です。

サブジェクトカテゴリは、全世界的に利用でき、他の言語に翻訳されたすべての Thema 体系で共通しています。クォリファイアーにも、すべての翻訳において共通で似たように使われる「共通コード」が含まれていますが、特定の国では重要である非常に特定のトピックに関連しているが、全世界的に普遍的な関心や適用可能性はないと考えられる「国別拡張コード」を含む場合があります。国別拡張コードのコンセプトとして、世界的な体系が地方・地域または各国レベルでも関連性を持てるように設計されています。国別拡張コードのクォリファイアーの適用ルールは、共通コードのクォリファイアーと全く同じです。

国別拡張クォリファイアコードの長さは可変ですが、常に共通コードである「親コード」を持ちます。親コードの後には、ISO 国コード（または同等のもの）が続き、ハイフンで区切られ、さらに文字が続く場合があります。例えば

1DNS-SE-BH	ヴェスタージェットランド
3MPBGJ-ES-B	スペイン：南北戦争（1936年 - 1939年）
4Z-US-	アメリカの教育カリキュラムのため（末尾のハイフンに注意）
4Z-GB-SD	スコットランドのカリキュラムナショナル5
5HC-US-A	アメリカ独立記念日

しかし、すべての利用者がすべての国別拡張コードを認識し、理解し、使用する必要はありません。一部またはすべての国別拡張コードが詳細すぎると判断し利用しないこともできます。「該当無し」の国別拡張コードの受信を処理する手順を以下に説明します。

注：国別クォリファイアの構成において ISO 国コードを使用することは、そのコードがその国でしか使用できない、あるいはその国だけに何らかの形で「属する」ということを意味するものではありません。国別拡張コードは、それが関係する人なら誰でも使うことができます。例として、フランスのグループがモンブラン山塊のコードを提案しましたが（1DZTA-FR-B）、これはモンブラン山塊の一部だけがフランスにあるという意味ではありません。1DZTA-FR-B はイタリアにある部分を含む山塊全体を示します。親となるコアコード（親コード）は、1DZTA - アルプス山脈です。同様に、米国グループによって提案されたコード（5PB-US-F）：「クレオールの人々に関連」は、米国内のクレオール人だけに適用されるわけではありませんが、ラテンアメリカ、カリブ海地域などのあらゆるクレオール人に使用できます。このコードは、必要に応じて、より地理的に正確な意味を与えるために、地域・国クォリファイアと組み合わせて使用することができます。

3. 国別拡張コードの構造と利用方法

上記のように、すべての国別拡張コードは、一番目のハイフンで始まる接尾辞であり、通常のコアコードを持つクォリファイアコードに追加されます。利用者が知られていない、または認識されていない国別拡張コードに遭遇したり、受け取ったりした場合は、コード文字列を最初のハイフンの前の共通コードを持つ親コードに切り詰めることで、意味のある値に解決することができます。

このように、利用者がカナダの国別拡張コードを認識していない場合。

1KBC-CA-SGA サスカチュワン州中央部：サスカトゥーン

は以下のように処理、理解されます。

1KBC カナダ

これは意味があり、正しい（正確性は低いですが）です。

特定の教育目的のクォリファイアなど、いくつかの国別拡張コードの場合には、2つの選択肢があります。

4Z-DE-FCB ドイツの総合職業訓練対策

利用者はこのコードを、ドイツの教育カリキュラムのためのものであることを示す 4Z-DE-だけに切り詰めることができます。あるいは、特定の教育カリキュラムのタイトルであることを示す 4Z - とすることもできます（どのカリキュラムかは特定されていません）。

この解決処理は、手動で行うこともできますし、単純なルールを適用して受信データを操作することで自動的に行うこともできます。

4. Thema サブジェクトカテゴリとクオリファイアーの選択

4a. Thema 分類の一般的なルール

簡単に言えば、Thema サブジェクトカテゴリとクオリファイアーを割り当てるための基本的なルールは以下の通りです。

ルール 1: 最初に入力されたカテゴリがメインサブジェクトであることを確認

「2.Thema 体系」で前述したように、書籍は、1つのサブジェクトカテゴリを使用して分類することも、複数のサブジェクトカテゴリを使用して分類することもできます。作品のサブジェクトと扱う範囲に関する利用可能なすべての情報を活用して、一番最初のカテゴリがその分類に最も適切で重要なサブジェクトを示していることを確認してください（すなわち、データ受信側が1つのカテゴリしか使用しない場合は、これがそのメインサブジェクトとなります）。

ルール 2: 仕様に合わせて、書籍を可能な限り正確に、または大まかに分類

書籍が一つのカテゴリで定義されている特定のトピックのみに関係している場合は、その正確なコードのみを使用してください。一つの分野でその範囲が広い場合は、その下にリストされているすべての特定の категориをリストアップするのではなく、その一つの広範なカテゴリを使用してください（下記の注釈 A を参照）。すべてのタイトルに可能な限りの最も詳細なカテゴリを付与する必要はなく、適用できる範囲の中で最も詳細なカテゴリのみを付与します。

ルール 3: 必要に応じて多くのカテゴリを選択

書籍がいくつかの分野をカバーしている場合は、必要な数だけ、関連する分類を、Thema のサブジェクトコード・クオリファイアーから選択してください(下記の注釈 B を参照)。ただし、周辺的なサブジェクトや、作品のごく一部にしか関連性のないサブジェクトには分類を選択しないで、書籍全体として実質的に関連しているサブジェクトにのみ分類を選択してください。Thema は最初に入力するカテゴリとしてメインサブジェクトが必要です。

ルール 4: 注釈の注意事項や指示を守る

階層構造を持つ Thema では、多くのカテゴリ(およびいくつかのクオリファイアー)には、特定の使用上の注意事項や「他の候補」が記載されています。これらは、大まかなカテゴリの中に記載されていることもあります(階層のレベル 1 や 2 など)、大まかなカテゴリの下に階層的に記載されているすべてのカテゴリに適用されます。注釈は、見出しの対象となるものや、スキームを

最大限に活用し、一貫性を維持するために、他のコードと組み合わせでどのように使用すべきかについての重要で有用な情報を提供しています。

バージョン 1.3 以降では、注釈の種類をより明確に区別するために、注釈が標準化されました。それらは以下の通りです。

- 1) 適用：これらの注釈は、このセクションに含まれる可能性のあるトピックの一部を示していますが、すべてではありません。これらは、この分野に当てはまりそうな一般的に使用されているサブジェクトカテゴリであったり、書籍流通で一般的に使用されている用語であったりします。これらはあくまでもガイドラインであり、注釈には記載されていませんが、このカテゴリに当てはまるであろう他のサブジェクトを除外するものではありません。
- 2) 用途：これらの注釈は「適用」に似ていますが、そのコードや使用法の注釈を使用して分類される可能性のある作品の種類について、より多くのガイダンスや、カテゴリ自体についてより詳細な説明を与えます。
- 3) すべての XX*コードの用途：この書式は、ガイダンス注釈の用途が、そのコード（ここでは XX で表される）で始まるすべてのカテゴリに適用されることを示すために使用されます。アスタリスクは常にこれらの文字または数字で始まるすべてのコードを示しています。
- 4) 組合せ：これらの注釈は、このカテゴリと一緒に使用するのが最も適切な他のサブジェクトカテゴリやクォリファイアについての具体的なガイダンスを与えます。この種の注釈記述がないからといって、他のカテゴリと一緒に使用できないということではなく、最も一般的な使用例や重要な使用例を指摘するためのものです。
- 5) すべての XX*コードとの組合せ：3 と同様に、これは注釈を使用してカテゴリとすべてのサブカテゴリに適用して使用することを意味します。
- 6) 推奨：これは、特定の種類の作品や使用例のために代替のカテゴリがより良い場合を示しています。
- 7) 他の候補：検討中の値の代わりか、または検討中の値と同様に適切である可能性のある、他の関連する Thema コードを利用者に指し示します。
- 8) 使用禁止：この注釈は多くはありませんが、時折、特定のコードを使用しない場合についてのアドバイスがあります。

ルール 5: 必要に応じてクォリファイアを追加

クォリファイアは、Thema 体系構造の主要な特徴の一つであり、非常に柔軟性があり、併用することで、比較的少ない数のサブジェクトカテゴリで広範囲の内容を表現することができます。カテゴリとクォリファイアの間には、暗黙のうちに結びついていることが多いが（例：言語学習教材と言語クォリファイア、旅行ガイドと地域・国クォリファイアなど）、クォリファイアは、特定のカテゴリのみにリンクしているわけではないことに注意してください。カテゴリと同様に、適用可能な最も具体的なクォリファイアのコードを選択し（利用可能な場合は、国別拡張コードを含む）、必要な数だけ使用します（下記の注釈 A および B を参照）。

ルール 6: コードの親子関係を含めて見出しを選択

常に体系全体のコードの親子関係を見て具体的な見出しを検討してください。見出しは単独で見ると適切に見えることもありますが、体系の中でのその位置は適切ではない意味合いを示していることがあります。階層内の特定のコードの「親」と「更に上位層（その親より上位の親）」の

見出しを常に見てください。この原則は、関連するサブジェクト（例えば、専門家や一般読者向けの作品、科学や産業、大人や子供向けの作品など）の異なる扱いを示す類似の見出しの間で選択する場合に特に重要です。以下の「セクションサマリー」を参照してください。

注釈

注釈 A：コードは階層化されているので、特定のサブジェクトを表す下位レベルのコードと組み合わせて、そのコードの「上位レベル」のコードを使用するのは誤りです。例えば、特定のカテゴリ QDHR3「プラグマティズム」では、通常、上位のコード QDHR、QDH、QD、または Q のすべてかそのいくつかを追加することは適切ではありません。サブジェクトが QD「哲学」の一側面であるという事実は、QDHR3 のコードに暗黙的に示されています。同様に、地域・国クォリファイアー 1HFGA を「エチオピア」とする場合、アフリカにあることを示すために 1H などとするのは適切ではありません。

一方、現代哲学全体についての本で、プラグマティズムの章、現象学の章、実証主義の章などがある場合、適用すべき正しいコードは、QDHR3 や QDHR5 や QDHR7 ではなく、より広範な QDHR とするのが適当です。

注釈 B：個々の書籍商品レコードに付与することができるサブジェクトカテゴリやクォリファイアーの数には上限がなく、体系が効果的に機能するためには複数の値を許可しなければなりません。各タイプの最大 5 つのカテゴリがあれば、ほとんどの状況を十分にカバーできることが提案されていますが、これは利用者がすべての本に 5 つのカテゴリを付与することを目指すべきだという意味ではありません。ほとんどの書籍では、必要なカテゴリ数はかなり少なく、1 つのカテゴリが書籍のサブジェクトを完璧に捉えている場合、それ以上のことは必要ありません。

注釈 C：使用する最も適切なカテゴリコードを探す際には、特定の言語の使い方を覚えておくことが重要です。例えば、見出しの「and」という単語は、分類されている作品がその見出しの中のすべてを網羅していなければならないという意味ではなく、見出しがいくつかの概念をカプセル化していることを意味しています。実際には「および/または（一方もしくはその両方）」の略語です。

下位層を持つ見出しには、下位層のカテゴリすべての見出しの単語を含めることができます。この見出しは、これらの内容の一部または全部をカバーする、より一般的な作品に使用されることを意図しています。

もう一つの使い方は、いくつかの見出しの最初に「その他(other)」という単語を使うことです。これは、そのサブジェクトの重要性を反映したのではなく、幅広いカテゴリを作成しておいて、その下に新しい階層を作成できるようにするための使い方です。繰り返しになりますが、これらは幅広い作品に使用することができ、多くの場合、他のサブジェクトのカテゴリやクォリファイアーと一緒に使用されるべきです。

4b. 最上位層の概要- サブジェクトカテゴリー

A	芸術
扱い範囲	高度にイラスト化された作品とテキストベースの作品の両方を含む、専門的および一般的な成人向けタイトル；アマチュア、ホビー、レクリエーションなどのアプローチには WF*コードを推奨
クオリファイアー	特に 様式 6* 、加えて 地域・国 1* と 年代・時代 3* を適宜
特記事項	

C	言語&語学
扱い範囲	専門家と一般成人
クオリファイアー	特に 言語 2* 、加えて 地域・国 1* と 年代・時代 3* と 教育目的 4* を適宜
特記事項	

D	伝記、文学&文学研究
扱い範囲	専門家と一般成人
クオリファイアー	特に 様式 6* 、 言語 2* 、 地域・国 1* か 年代・時代 3* （下記の言語クオリファイアーのインストラクション参照）
特記事項	文学研究では、対象となっている文学の言語を示すために 言語 2* を使用し、文学批評で扱っている文学様式や大きな影響を与えている国や地域的な背景（例えばオーストラリアの英語文学やメキシコのスペイン語文学に関する作品など）の場所を示すために 地域・国 1* を使用するが、その様式に由来する実際の作品（小説など）や出版された場所には使用禁止です。ある時代の研究をより正確に行うために、 年代・時代 3* を使用する。

F	フィクション&関連アイテム
扱い範囲	一般成人；グラフィックノベルの X*コードも参照
クオリファイアー	地域・国 1* もしくは 年代・時代 3* 、これらの側面が設定にとって特に重要である場合は 対象 5* （特に 5H*、5J*、5L* または 5P*）を適宜使用する。
特記事項	F*コードは、物語の主要な設定やトピックを示すために、適切なノンフィクションのカテゴリーと一緒に使用されることがあるが、すべての一般的なフィクションでは、メインカテゴリーは F*コードでなければなりません。FX*コードは、根底にある強いテーマを示すために使用されることがある。FY*コードは、フィクションのタイトルの特別な特徴を示すために使用されることがある。

Thema バージョン 1.4 利用手引き（日本語版）

G	参考書、情報と学際的なテーマ
扱い範囲	専門家と一般成人
クオリファイアー	適宜
特記事項	GBC（参考文献）は、作品の領域または範囲を示す他のコードと一緒に（後に）のみ使用しなければなりません。

J	社会&社会科学
扱い範囲	専門家および一部の一般成人；多くのトピックへの実践的なアプローチについては、V*コードも参照
クオリファイアー	適宜、特に対象 5*
特記事項	J*では、多くの社会科学は広範なトピックであり、多くの代替用語や名称を持つ可能性があるため、利用可能な最も適切なコードを使用してください。また、J*コードは、サブジェクトの範囲を広げるために、互いに組み合わせて使用すべきである。JN*コードは、実践としての教育に適用されるタイトルには、教育レベルの読者コードを必要とせず、YP*コードと併用してもよい。

K	経済学、金融、ビジネス、マネジメント
扱い範囲	専門家（専門的・学術的）および一部の一般成人；多くのトピックへの実践的なアプローチについては VS*コードも参照
クオリファイアー	適宜
特記事項	特定の K*コード(KFCX「会計：学習参考書、試験対策本」, KFFX「銀行取引&融資：学習参考書、試験対策本」, KJBX「ビジネス&マネジメント：学習参考書、試験対策本」)は、学習参考書や試験対策本など、特別な扱い範囲となっている。

L	法律
扱い範囲	学術、専門、または専門家のタイトルのみ、一般成人向けアイテムについては VS*コードを参照
クオリファイアー	地域・国 1* は 管轄権を示す（特に LN*コードの場合）、これに加えて、必要に応じて他のクオリファイアーを追加
特記事項	L*セクションは特定の法制度を反映することを意図したものではなく、多くのタイトルは適切なカテゴリを作成するために少なくとも 2 つのコードを必要とします。LX コード「法律：学習参考書、試験対策本」は学習参考書や試験対策本などは特別な扱い範囲となっている。

Thema バージョン 1.4 利用手引き（日本語版）

M	医学、看護
扱い範囲	学術的、技術的、専門的なヘルスケアおよび医療関連の書籍のみ、幅広い一般成人向けの健康トピックについてはV*コードを参照
クオリファイアー	一般的には必要ありません
特記事項	M*コードは通常、他の非M*サブジェクトコードと混在しない。MR*コード「医学学習参考書、試験対策本、参考資料書」は、学習・試験対策本や参考資料などは特別な扱い範囲となっている。

N	歴史&考古学
扱い範囲	専門家と一般成人
クオリファイアー	特に 地域・国 1* と 年代・時代 3* 、その他適宜
特記事項	例えば、社会科学(J*)とNHTBのカテゴリのように、歴史の作品では通常、より詳細な情報を提供するために、歴史または歴史以外の分野から複数のサブジェクトカテゴリが必要となります。

P	数学&科学
扱い範囲	主に学術書、技術書、専門書、および一部の一般向け作品（一般読者向けPDZ*「一般読者向け科学系読み物」参照を除く）；一般読者向けアイテムについてはWN*コードを参照
クオリファイアー	一般的には必要ありません
特記事項	

Q	哲学&宗教
扱い範囲	学術的、専門的、一般的な成人向けタイトル；「心、体、精神」へのアプローチにはVX*コードを推奨
クオリファイアー	適宜
特記事項	QRA*とQRV*コードは、他のQR*コードと一緒に使用して、特定の宗教を表す必要があります。

R	地球科学、地理、環境、都市計画
扱い範囲	学術、技術、専門、一般成人のタイトル；一般読者向けアイテムにはVS*とWN*のコードを推奨
クオリファイアー	特に 地域・国 1* と、その他適宜
特記事項	

S	スポーツ& アクティブな屋外レクリエーション
扱い範囲	一般成人と専門家のタイトル
クオリファイアー	適宜
特記事項	

T	技術、工学、農業
扱い範囲	学術、技術、専門、職業、一般成人のタイトル；一般成人のアイテムについては WG*コード「食べ物&飲み物等の調理法」を参照
クオリファイアー	特に、職業訓練、専門職、または現場学習スタイルの教育タイトルのための 教育目的 4* クオリファイアーおよびその他適切なもの
特記事項	

U	コンピュータ(コンピューティング)&IT(情報技術)
扱い範囲	学術、技術、専門家と一般成人向けタイトル
クオリファイアー	特に職業教育タイトルのための 教育目的 4* クオリファイアーおよびその他適切なもの
特記事項	

V	健康、人間関係&自己啓発
扱い範囲	一般成人；専門業務については適宜 C*, J*, K*, L*, M*, Q*, R* コードを参照
クオリファイアー	特に 対象 5* とその他適宜
特記事項	

W	ライフスタイル、趣味&レジャー
扱い範囲	一般成人を対象とした一般書。専門的、技術的、学術的な作品については、適宜、A*, K*, N*, P*, R*, T*コードを参照
クオリファイアー	特に 対象 5* その他は適宜。特に WT* (旅行)と WB* (料理/飲食)の場合は 地域・国 1*
特記事項	

X	劇画、漫画
扱い範囲	一般成人、10代あるいは児童向けのタイトル
クオリファイアー	これらの側面が特に重要な場合に 地域・国 1* および 年代・時代 3* ； 対象年齢/レベル 5* およびその他 対象 5* クオリファイアーは適宜
特記事項	アイテムを完全に分類するには、通常、XA*の「類型別」とXQ*の「内容別」が必要。10代と児童向けのタイトルが含まれていることに注意する。

Y	児童、10代&教育
扱い範囲	児童または思春期の読者を対象として作成された、または意図的に書かれたすべての書籍（X*の劇画、漫画を除く）。就学前、初等・中等教育向けのYP*教材。（使用禁止：10代の若者にもアピールできるような、主に成人を対象とした教材にはY*コードを使用しない）
クオリファイアー	対象年齢/レベル 5A* クオリファイアーを1つだけ使用して、対象年齢開始ガイドラインを示す（詳細な年齢範囲は他のメタデータに含めるべきである） - またはYP*には 教育目的 4* クオリファイアーを使用する。その他のすべてのクオリファイアーは、Y*コードを用いて適切に使用することができる。
特記事項	YN*（子供/10代向け一般書）のコードは、特に重要な場合、フィクション作品のキーとなるトピックス（或いはさらに詳細なトピックス）を示すために、YF*（子供&10代向けのフィクション、実話本）のコードと一緒に使用することができる。YX*（子供/10代向け：個人的&社会的トピックス）は、フィクションで取り上げられた問題を示すために、YF*（子供&10代向けのフィクション、実話本）コードと一緒に使用することができる。注：すべての子供向けおよびティーンエイジャー向けのフィクションでは、主要なカテゴリーはYF*コードでなければならない。

4c. 最上位層の概要 - クオリファイアー

1	地域・国
用途	旅行ガイドの場所、小説の舞台、法律が適用される管轄区域、特定の場所の歴史など、コンテンツの地理的範囲と適用可能性を示す。選択肢がある場合、例えば、同時代的、歴史的、文化的、行政的、地球物理学的な実体を表す用語がある場合には、その内容に最も適した表現を使用する。特定の場所のコードが存在しない場合は、その場所を含む最も近い最も適切な広義のコードを使用する。使用禁止：本の内容とは関係のない地理的側面を示すためには使用しない（例：出版地、市場での入手可能性、著者の国籍-これは他のメタデータなどに記述されている）
国別拡張コード	国別拡張コード（すなわち、1*-xx-形式のコード、「xx」は国コードを示す）は、どの利用者でも付与することができ、指定された国の利用者だけに限定されるものではない。このセクションは、すべての場所の完全地名辞典としてではなく、世界的な書籍流通で一般的に使用されている場所のリストを意図している。

2	言語
用途	その本が何の言語に「ついて」書かれているかを示すもので、その本が何の言語で書かれているかを示すものではない（後者は他のメタデータに記述されている）—言語学や文学研究の作品、言語学習の方法、フレーズブックや辞書など
国別拡張コード	細分化された言語やより小さな地域言語も利用可能で、どの利用者にも付与することができ、指定された国の利用者だけのものではない。

3	年代・時代
用途	<p>美術書 (A*)、歴史書 (N*)、回顧録・伝記 (DN*)、歴史小説 (FV*)、児童向け歴史書 (YNH*) など、作品内容の対象期間の範囲を示す。</p> <p>年代・時代クォリファイアは通常、地域・国 1*クォリファイアと組み合わせて用いられる。（特定の歴史的出来事や個々の年は、作品のメタデータの他の所、例えば、タイトルや目次、説明文やキーワードなどで詳細に伝えられる）</p> <p>使用禁止：年鑑、道路地図、旅行ガイドの年、あるいは作品が最初に出版された年を示すためには使用しない（これは他のメタデータに記述されています）</p>
国別拡張コード	<p>国別拡張コードは、特定の市場において重要である特定の名前がついた年代・時代のためであるが、必ずしも一般的な年代・時代クォリファイアの構造にうまく収まるとは限らない。すべての国内拡張機能は、コアとなる年代・時代コードのサブカテゴリであるため、標準の年代にマッピングすることができる。国別拡張コードは、どの利用者でも付与ことができ、指定された国の利用者だけに割り当てられるものではない。</p>

4	教育目的
用途	<p>学校の教科書、語学学習コースワーク、学習補助教材、復習教材、職業訓練教材など、教育教材が特別に設計されたカリキュラム、試験、またはレベルを示す。</p> <p>YP*コードを使用する場合は、必ず 4*クォリファイアを使用すること。</p> <p>(使用禁止：学校や大学の歴史など、書籍の対象となる教育機関を示すためには使用しないでください)</p>
国別拡張コード	<p>4Z- 特定の国の教育システムのために作成された、または特定の国の教育システムのために作成された教材のために利用可能な場合の国別拡張コード。4Z コードは、複数の国で使用されている教材、例えば GMAT 試験などに使用することができます。</p>

5	対象
用途	<p>特定の作品の主な内容に関連する様々な特徴を示す。5A*年齢コードは、主に児童や 10 代を対象とした作品のコンテンツの一般的なガイドラインとなる対象となる開始年齢を持つ Y*コードを修飾する。5H*は特定の休日やイベントに関する内容を、5L*は特定の年齢層・世代に関する内容を、5P*は特定の集団に関する内容を、5X は明示的な内容を示す。</p> <p>5A*, 5J*, 5L*, 5P*, 5X コードの使用方法については、特に注釈に注意してください。</p> <p>すべての対象 5*の各コードは、作品のメインコンテンツまたはトピックを記述するために使用する必要があります。</p>

Thema バージョン 1.4 利用手引き（日本語版）

	使用禁止：マーケティングの対象読者コードとして使用しないでください。 対象 5* クオリファイアは、作品の主な内容に関連するものでなければなりません。
国別拡張コード	祝日やグループ&文化のためのいくつかの拡張。国別拡張コードは、どの利用者にも付与することができ、指定された国の利用者だけに割り当てられるものではありません。

6	様式
用途	<p>芸術、建築、ファッション、ダンス、音楽（すべてのA*カテゴリー）の本など、作品の内容によってカバーされる芸術的または創造的表現の特定のスタイルを示すために、または文学研究と一緒に、例えば、ロマン派の詩を示すためにDC*と一緒に6RAを使用したり、叙事詩を示すために6EHを使用したりする。</p> <p>A*、D*、YN*、およびその他のカテゴリーと組み合わせて使用し、特定の国や地域のスタイルに関する内容の場合は、地域・国 1*のクオリファイアと組み合わせて使用する。</p>
国別拡張コード	該当なし（すべてのコードは共有値）

5. Thema カテゴリーとクォリファイアーの送受信例

ONIX 3.0 では、19 世紀後半のフランス絵画の特定の芸術派についての本を、このように分類して伝えることが可能です。

```
<!-- ***** ONIX 3.0 ***** -->
<Subject>
  <MainSubject/>
  <SubjectSchemeIdentifier>93</SubjectSchemeIdentifier>          <!-- 93 = Thema サブジェクト分類を使用することを示す-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>             <!-- Thema のバージョン 1.4 -->
  <SubjectCode>AGA</SubjectCode>                                <!-- AGA = 美術史-->
</Subject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>93</SubjectSchemeIdentifier>
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>AFCL</SubjectCode>                                <!-- AFCL = 絵 & 油彩-->
</Subject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>94</SubjectSchemeIdentifier>          <!-- 94 = Thema 地域・国クォリファイアー分類を使用することを示す--->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>1DDF-FR-FB</SubjectCode>                          <!-- 1DDF-FR-FB= フィニステール-->
                                                                <!-- 注意 1DDF = 国別拡張コード値が不明の場合はフランス-->
</Subject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>96</SubjectSchemeIdentifier>          <!-- 96 = Thema 年代・時代クォリファイアー-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>3MNQX</SubjectCode>                                <!-- 3MNQX = 1880 年頃から 1889 年頃 -->
</Subject>
<Subject>
```

Thema 1.4, Basic User Instructions

```
<SubjectSchemeIdentifier>99</SubjectSchemeIdentifier>          <!-- 99 = Thema 様式クォリファイア-->
<SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
<SubjectCode>6SV</SubjectCode>                                <!-- 6SV = 総合主義 (シンセシズム) -->
</Subject>
```

このサブジェクト分類には、「ポンアヴェン」や「ポスト印象派」などのキーワードが含まれ、ポール・ゴーギャンやエミール・ベルナールを組み合わせた「サブジェクトとしての名前」が含まれている場合がありますが、この場合には、サブジェクトの一般的な扱いとより学術的な扱いを区別するために、対象となるオーディエンスの詳細を示すことも役に立つかもしれません。この例は、『ONIX 3.0 実装とベスト・プラクティス・ガイド』から引用しています。

ONIX 2.1 では、わずかな違いしかありません。最初の<Subject>では、<Subject>の代わりに<MainSubject>を使用し、<SubjectSchemeIdentifier>の代わりに<MainSubjectSchemeIdentifier>を使用し、<MainSubject/>を省略しています。

```
<!-- ***** ONIX 2.1 ***** -->
<MainSubject>
  <MainSubjectSchemeIdentifier>93</MainSubjectSchemeIdentifier>  <!-- 93 = Thema サブジェクト分類を使用することを示す-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>              <!-- Thema のバージョン 1.4 -->
  <SubjectCode>AGA</SubjectCode>                                  <!-- AGA = 美術史-->
</MainSubject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>93</SubjectSchemeIdentifier>
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>AFCL</SubjectCode>                                <!-- AFCL = 絵 & 油彩-->
</Subject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>94</SubjectSchemeIdentifier>          <!-- 94 = Thema 地域・国クォリファイア-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>1DDF-FR-FB</SubjectCode>                          <!-- 1DDF-FR-FB= フィニステール-->
                                                                <!-- 注意 1DDF = 国別拡張コード値が不明の場合はフランス-->
</Subject>
```

Thema 1.4, Basic User Instructions

```
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>96</SubjectSchemeIdentifier>      <!-- 96 = Thema 年代・時代クオリファイア-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>3MNQX</SubjectCode>                          <!-- 3MNQX = 1880 年頃から 1889 年頃
</Subject>
<Subject>
  <SubjectSchemeIdentifier>99</SubjectSchemeIdentifier>      <!-- 99 = Thema 様式クオリファイア-->
  <SubjectSchemeVersion>1.4</SubjectSchemeVersion>
  <SubjectCode>6SV</SubjectCode>                            <!-- 6SV = 総合主義 (シンセシズム) -->
</Subject>
```

ONIX 3.0 と同様に、キーワード、「件名としての名前」、オーディエンスの詳細も理想的には含める必要があります。

Thema 1.4, Basic User Instructions

もちろん、Thema のコード値や見出しは、他のメッセージ形式で取引先間で送信されたり、ウェブサイトに表示されたり、カタログや販促物に使用されたりすることがあります。見出しは適切な言語で表示することができますが、分かりやすさと相互運用性を高めるために、コードを Thema の見出しと一緒に表示することが常に有用です。

ハワード・ウィロー

ニールセン、Thema 国際運営協議会初代議長

グラハム・ベル、アレックス・イングラム、クリス・セイヤー

EDItEUR

2020 年 4 月 7 日